

# アジ研 ワールド・トレンド

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

特集 **クルド**——国なき民族の生存戦略——

# 12

分析レポート  
現地レポート

- 普遍的価値をめぐる中国の葛藤
- なぜ行ったり来たりがうまいのか  
——フィリピンの「ことば」の難しさを考えてみる——

2017  
No.266

フォトエッセイ ● 過ぎたるは及ばざるがごとし——バンコクの交通事情——



IDE-JETRO

- 1 巻頭エッセイ／国民国家の揺らぎとクルド人のエンパワメント 立山良司

## 特集／クルド——国なき民族の生存戦略——

- 2 特集にあたって——脇役に光をあてる—— 佐藤 寛
- 3 ワシントン、クルド人の新しい戦場 高橋和夫
- 5 「見えない」イランのクルド人問題——その歴史的背景をさぐって—— 山口昭彦
- 7 シリアークルディスタンの変貌—— 勝又郁子
- 10 経済的自立を模索するイラク・クルディスタン 吉岡明子
- 12 ハサン・ロウハーニー政権のクルド政策 貫井万里
- 14 シリアのクルド人——現状と歴史の概観—— 森山央朗
- 16 トルコにおけるクルド問題 今井宏平
- 18 クルドとヨーロッパ 八谷まち子
- 20 コラム：拡大する在日クルド人コミュニティと地方行政の現実 藤林大貴
- 21 コラム：世界のクルド研究の現状 今井宏平

## フォトエッセイ

- 22 過ぎたるは及ばざるがごとし——バンコクの交通事情——  
ケオラ・スックニラン

## 分析レポート

- 26 普遍的価値をめぐる中国の葛藤 江藤名保子

## 現地レポート

- 34 なぜ行ったり来たりがうまいのか  
——フィリピンの「ことば」の難しさを考えてみる—— 岡部正義

## 連載／世界珍食紀行 第11回

- 38 デーツ——アラブ首長国連邦—— 齋藤 純

## ライブラリ・コーナー

- 39 アジア経済研究所学術リポジトリARRIDEのご案内 村井友子
- 40 アジ研だより

〔表紙写真〕

クルディスタンの山と羊  
(撮影：吉岡明子)

本誌に掲載されている記事などの  
内容や意見は、外部原稿を含め、  
執筆者個人に属し、日本貿易振興  
機構あるいはアジア経済研究所  
の公式見解を示すものではありません。

## 国際シンポジウム 「不安定な中東と再建・再生への道」

### 1. 趣旨・背景

中東は大きな政治的、経済的変動の渦中にあり、経済や開発、そして人々の生活も大きな影響を受けてきた。アラブの春を経て多くの国では政変や紛争が起こり、シリア、イラク、リビア、イエメンでは現在も紛争が続いている。比較的安定していた湾岸地域ではサウジアラビアとイランの対立が厳しくなり、その対立はシリア、イラク、イエメンにも波及し、サウジアラビアなどアラブ 4 国によるカタールとの断交にもつながった。さらに、2014 年以降の原油価格の暴落で湾岸諸国などの中東産油国は石油収入が急減し、中東産油国は経済・財政的に大きなダメージを受け、その安定を脅かしている。

サウジアラビアなど湾岸産油国は、低原油価格時代を生き延びるために経済の多角化（いわゆる脱石油）を目指して経済と財政の改革に真剣に取り組んでいる。今年に入りイラクやシリアでは「イスラーム国」の勢力が大幅に弱まり、最悪の混乱からは脱出しつつある。中東地域は新しい政治と地域秩序、新しい経済体制へと向けて変化しつつある。こうした流れの中で、中東地域では安定した新しい時代を迎えることができるのだろうか。

中東地域に安定化と再生への芽が出てきている今、本シンポジウムでは現状を検討し、今後の再建・再生への可能性とその方策について議論し、日本を含めた国際社会の協力についても考える。

### 2. 概要

- (1) テーマ：「不安定な中東と再建・再生への道」
- (2) 開催日時：2017 年 12 月 19 日（火）13:30 ～ 17:00（開場 13:00）
- (3) 開催場所：国連大学・タント国際会議場
- (4) 定員：300 名
- (5) 参加費：① 一般：4,000 円  
② アジア経済研究所賛助会正会員、ジェットロ・メンバーズ、農水産情報研究会会員：それぞれ 1 口につき先着 2 名まで無料。  
3 人目より 4,000 円 / 人  
③ アジア経済研究所賛助会個人利用会員及び学生：2,000 円
- (6) 使用言語：日本語、英語（日英同時通訳）
- (7) 主催：日本貿易振興機構アジア経済研究所、世界銀行、朝日新聞社

### 3. プログラム

- |               |   |
|---------------|---|
| 13:30 ～ 13:40 | 開会挨拶 世界銀行東京事務所、朝日新聞社  |
| 13:40 ～ 14:15 | 基調講演 “TBD”<br>Hafez Ghanem (Vice President, Middle East and North Africa, World Bank Group)   |
| 14:15 ～ 14:50 | 基調講演 “Insecure Gulf and the Way to Reconciliation and Stability”<br>Steven Wright (Associate Dean/Associate Professor, College of Humanities and Social Sciences, Hamad Bin Khalifa University (HBKU), Qatar) |
| 14:50 ～ 15:10 | コーヒーブレイク  |
| 15:10 ～ 15:40 | 基調講演「中東ジャーナリストから見た現状と安定化への展望」<br>川上泰徳（中東ジャーナリスト、元朝日新聞中東アフリカ総局長、編集委員）  |
| 15:40 ～ 15:55 | 講演「中東における地域協力と安定化への展望」<br>福田安志（新領域研究センター上席主任調査研究員）  |
| 15:55 ～ 16:10 | 講演「TBD」<br>長澤栄治（東京大学教授）   |
| 16:10 ～ 16:55 | パネルディスカッション<br>司会 佐藤寛（新領域研究センター上席主任調査研究員）   |
| 16:55 ～ 17:00 | 閉会挨拶 アジア経済研究所   |

お問い合わせ先

■ジェットロ・アジア経済研究所 研究支援部成果普及課  
TEL: 043-299-9536  
Email: seminar@ide.go.jp

## アジア経済研究所図書館・千葉大学 附属図書館 共催資料展 & 講演会

資料展では、タイ、インドネシアを中心に、研究所図書館の豊富な東南アジア関連コレクションを展示します。講演会では、日タイ関係を切り口に、タイ王国の魅力を紹介します。

### 資料展

資料展名：「本と旅する東南アジア—アジ研図書館資料展—」  
開催期間：2017 年 11 月 25 日（土）～ 12 月 24 日（日）  
開催場所：千葉大学附属図書館（本館）N 棟 3 階東ブックツリー

### 講演会（1210 あかりんアワー\*）

テーマ：「となりのアメージング・タイランド—日本との関係から見るタイ王国—」

講師：青木まき（アジア経済研究所 地域研究センター 東南アジア研究 I グループ）

開催日時：2017 年 12 月 1 日（金）12:10 ～ 12:45

開催場所：千葉大学附属図書館 N 棟 1 階 プレゼンテーションスペース

参加費：無料

※一般の方の参加も可

※事前申込み不要

プログラム：①講演（30 分）

②アジ研図書館紹介（5 分）

\*千葉大学附属図書館で実施されているショートセミナー。

お問い合わせ先

■千葉大学附属図書館 利用支援企画課  
TEL: 043-290-2262  
Email: fbe2262@office.chiba-u.jp

■ジェットロ・アジア経済研究所図書館 研究情報レファレンス課  
TEL: 043-299-9716  
Email: alislib@ide.go.jp

### 2018 年 1 月号特集の予告

「シェア・エコノミー：新たなビジネスとサービスのかたちを探る」

Uber や GrabTaxi、Airbnb といった名前は今や耳慣れたものになった。シェアリング・エコノミーは「新たなサービスのかたち」として私たちの日常生活に定着しており、今後もさらなる進展が期待できそうである。シェアのビジネスは、サービス市場にいかに影響を与え、我々の生活にどのような変化をもたらしていくのだろうか。またこの国際潮流に日本は今後どう反応していくのだろうか。本特集では、シェアリング・エコノミーが積極的に需要されているアジアを中心に、そのビジネスや利用者、関連する法令についてまとめる。

（12 月 15 日刊行予定。タイトルは変更することがあります。）

### アジ研ワールド・トレンド

第 23 巻第 12 号 通巻第 266 号

2017 年 11 月 15 日発行

編集・発行

日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉 3 丁目 2 番 2

電話 043(299)9735 FAX 043(299)9736

ウェブサイト www.ide.go.jp

印刷・製本 株式会社アイネット

©日本貿易振興機構アジア経済研究所 2017 年



## アジア経済研究所出版物のご案内

石黒大岳編

# 『アラブ君主制国家の存立基盤』

「アラブの春」後も体制の安全性を維持しているアラブ君主制諸国。君主が主張する統治の正統性と、それに対する国民の受容態度に焦点を当て、体制維持のメカニズムを探る。

(研究双書 No.630)

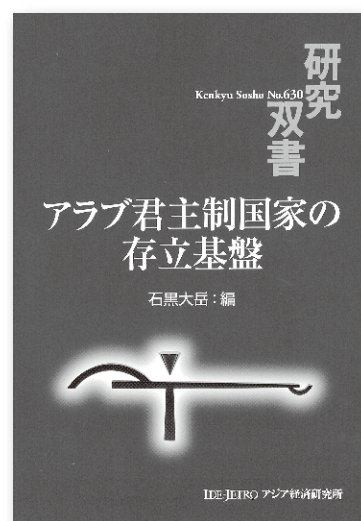
本体価格 2,700 円＋税

A5 判

172pp

2017 年 10 月発行

ISBN978-4-258-04630-0



まえがき

第1章 総論——アラブ君主制国家の存立基盤—— / 石黒大岳

第2章 クウェートの議会政治と王党派の形成 / 石黒大岳

第3章 ふたつの「マジュリス」

——バハレーンにおける国民の政治参加と統治体制の安定性—— / 村上拓哉

第4章 オマーンの統治体制の安定性における国王による行幸の役割 / 村上拓哉

第5章 君主体制と建国記念日

——UAEにおける政治的正統性と忠誠の検討—— / 堀抜功二

第6章 モロッコ王制の安定性におけるバイア（忠誠の誓い）儀礼の役割 / 白谷 望

第7章 ヨルダン王制の安定性——国王の権威を支える諸要素—— / 錦田愛子

第8章 サウジアラビアの聖地管理と再開発 / 石黒大岳

索引



バザールにおどる独立住民投票支持の垂れ幕 (吉岡明子撮影)